



# 再生医療国際拠点の設置に向けて

再生医療の普遍化を目指し、効率的推進/海外展開には、再生医療国際中核拠点が必要

## 求められる機能

- ・再生医療臨床研究の加速的実施
- ・再生医療の国際展開のHub
- ・再生医療教育の充実とレギュトリーサイエンスの推進
- ・再生医療技術と評価法の普遍化
- ・再生医療次世代人材育成



再生医療が実用化につながろうとしているいま、  
拠点の形成を日本再生医療学会として提言

# 再生医療国際センター(仮称)構想



# 再生医療国際センターに必須の要素

ヒトへの応用から産業化、世界展開まで一貫して実用化を推進する拠点として、以下の要素を備えることが必須

## 1. 再生医療のヒトへの応用を実現

再生医療の叡智を結集／臨床研究・治験の実践

## 2. 産業化を推進

イノベーション創成に向けた取り組み／国家戦略特区

## 3. 世界展開を実現

空港への抜群のアクセシビリティ／海外から人が集まってくる環境

**世界に類のない再生医療国際拠点の形成**

# 再生医療国際センターに求められる機能、特徴

## センターに必要な機能

### 病院機能

臨床研究から治験への移行と実用化を促進

病院内に再生医療に特化した設備を持ち、最先端の再生医療を患者に提供



### 産学共創研究室

#### レギュラトリーサイエンス研究室

産学共創で産業化に向けた研究を推進  
製品化に向けた審査等の基準の確立



### 細胞バンク

細胞の安定した供給と流通を目指す  
再生医療データと連携



### 再生医療データの集積、管理、解析

学会事務局の設置



## センターの特徴

### 世界に開かれた国際拠点

空港へのアクセスがスムーズ  
国内、海外から人の集まる場所  
研究成果の海外展開など



### 複数の研究拠点との連携

京都大学iPS細胞研究所や理研CDB等の研究拠点とのネットワーク



### 人材育成、教育

再生医療の研究・教育・育成の実践の中心となり、再生医療技術の維持、向上に貢献  
実地訓練の為の細胞加工施設を有する  
再生医療トレーニングセンター



### 社学連携

市民への情報公開  
学生への啓発



## 再生医療研究・臨床センター

再生医療を創像し、  
世界に向けて再生医療提供の中心となる



【最大の課題】  
病院設立・運営にあたって  
巨額の費用、人材、設備、集客等が必要。  
周辺病院等との兼ね合い。



設立後の運営を見据えた  
機能・運用を検討。